

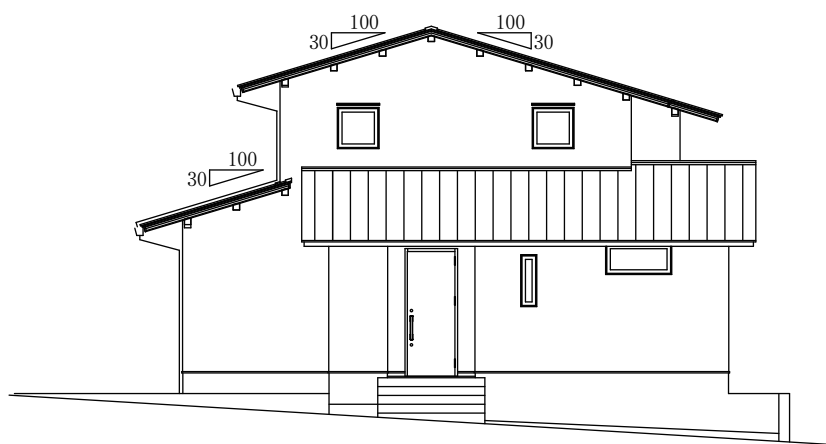
1 設計趣旨

狭間が丘の家

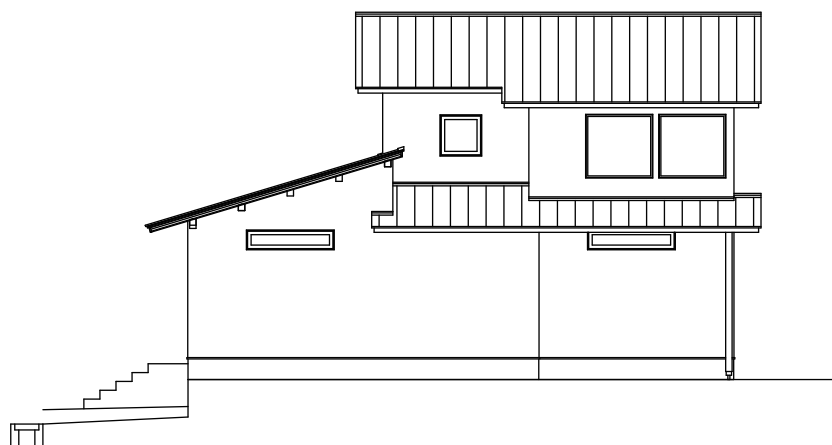
暮らしやすさと居心地の良さを同時にかなえる狭間が丘の家。
断熱等級7の仕様で夏も冬も快適に健康に過ごすことができる。
1階に寝室を配置することで平屋風の暮らしを実現。
子供が小さいときもまた夫婦2人になってからも同じように暮らしやすい間取りに。

日常の暮らしはもちろん休日もお家で過ごすのが楽しみになるような広いウッドデッキと開放感のあるリビングダイニング。
自然豊かな土地で、憧れの郊外暮らしを楽しむお家です。

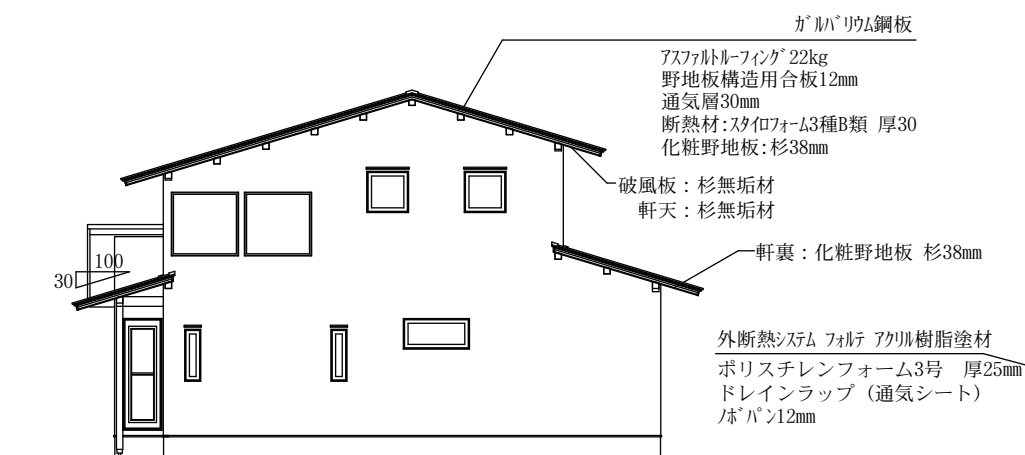
2 立面図



東立面図



北立面図



西立面図



南立面図

3 木の命が生きている木材 音響熟成®木材

常木材の命が失われる「機械乾燥」ではなく、従来の「自然乾燥」よりもコストがかからない新しい乾燥法が常温熟成庫の中でクラシック音楽を聴かせ、木にストレスを与えず熟成乾燥させる「音響熟成」です。
音響熟成は木の細胞を破壊することがなく、木材の持つ油分やエキ스가そのまま残り、保湿作用・保水作用・防菌作用を合わせ持ち、時間とともに美しいツヤも出てくるという、まさに「生きた木材」に仕上がります。



4 化学物質を吸着・分解 幻の漆喰®

干潟で名高い有明海。『幻の漆喰』は、その豊かな命の海に生息する赤貝の殻を焼いた焼成カルシウムに、銀杏草（海藻）を煮てつくる糊と無菌水を混ぜ合わせ、生成されます。つなぎとして麻のスサを利用するなど、伝統と高度な技術を組み合わせて生み出された、今までにない新しい漆喰（壁材）です。自然素材しか使っておらず、人体にも無害で安全。さらに独自の「光熱触媒」作用により、室内の化学物質を吸着・分解し、住まいの空気をいつまでも清浄に保ちます。



5 マイナスイオン効果で爽やか 竹炭入り清活畳®

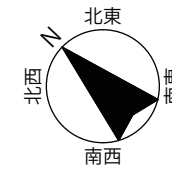
竹炭の量は、六畳二間でドラム缶一本分の量。だからこそ竹炭の持つ「保湿・断熱」「消臭」パワーを、そのまま畳で実現できたのです。さらに、自己治癒力を高め、免疫機能・新陳代謝を促進。ストレスを抱える方のリフレッシュ効果・脱臭効果・電磁波の無害化などの効果があると言われています。さらに吸着した化学物質や有害物質を分解する働きもあるのが特徴。竹炭のこの効果は、備長炭の数倍から10倍程度あるとされています。



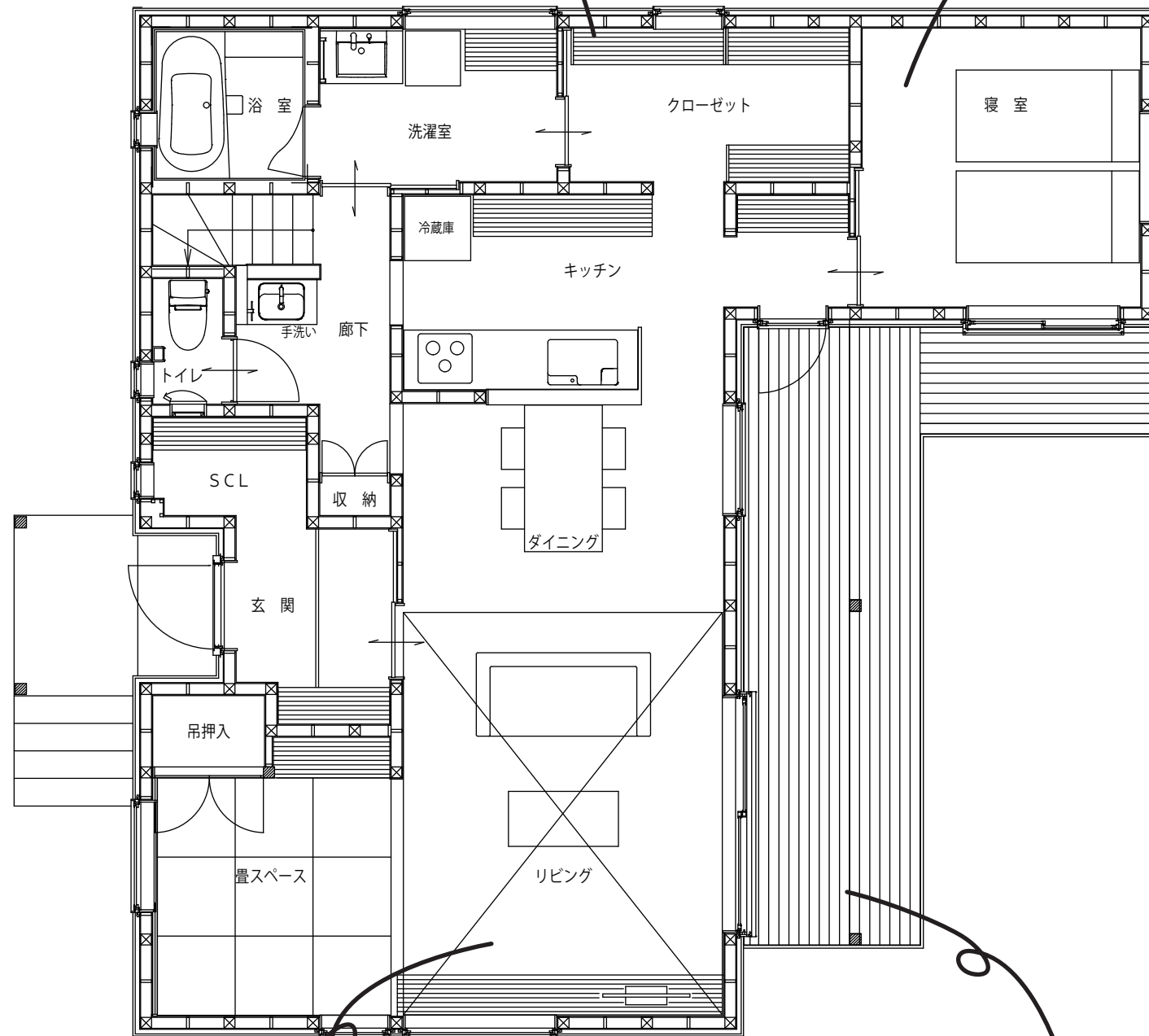
6 平面図・みどころ

洗濯室～クローゼット～キッチンの
回遊動線で家事がスムーズに。

1階寝室で将来に亘り平屋のような
暮らしができる。

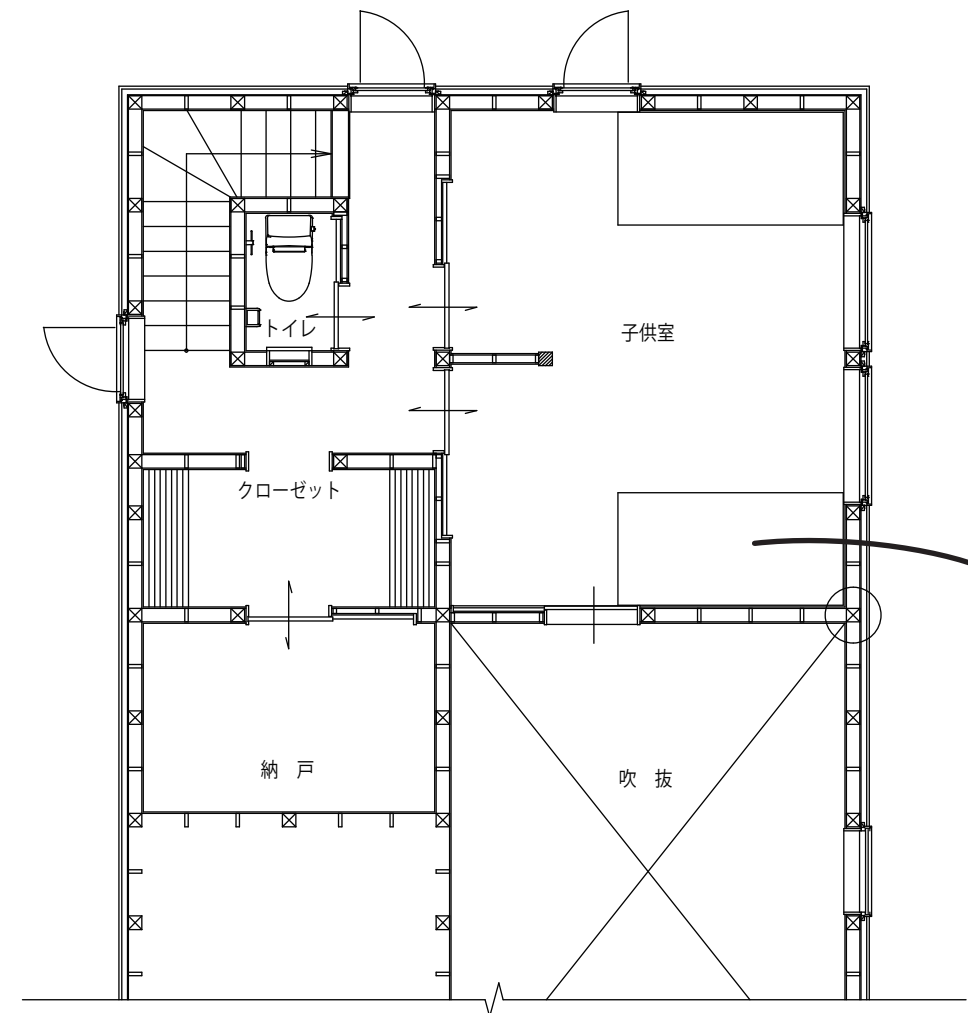


敷地面積	287.42 m ² (86.94 坪)
建築面積	95.85 m ² (28.99 坪)
1階床面積	82.39 m ²
2階床面積	33.95 m ²
延床面積	116.34 m ² (35.19 坪)



音響熟成®木材の焼杉を使用した
リビングフロア。
吹抜けリビングを見上げると2階につながる小窓。

リビングの掃き出し窓から繋がる
ウッドデッキ。リビングの一部として
ちょうど良い気候の時期にはくつろぎの
スペースに。



将来的には2部屋にも間仕切ることが
できる子ども部屋。
リビングにつながる障子の小窓がポイント。